

先日、網走では花火大会が行われ、各地では夏祭りも開催されているようで、いよいよ夏本番といったところです。ただ、夏の味覚となっているホッケイエビの資源が少なく漁が思わしくなかったり、漁を行わなかったところもあるようです。また、最近、道内の水産物の価格がますます高くなっています。全道的な資源の減少によるホッケ、海外からの引き合いが強いマナマコやホタテガイ、ロシアからの輸入量の減少によるケガニなどのカニ類、さらにロシア 200 カイリ水域内でのサケマス流し網漁が来年以降禁止されることから北洋のサケ・マス類も高値になっているようです。北海道に水揚げされるおいしい魚が食べづらくなるのは残念なことです。国内での魚離れに拍車のかからないことを祈りたいです。

▼さて、毎年実施しています水産研究本部の成果発表会が 8 月 4 日(火)に札幌市にある第二水産ビル 8 階で開催されます。いくつかのセッションに分け 14 題の口頭発表が予定されておりますので、興味ある方は是非参加いただければと思います。詳細は水産研究本部の HP をご覧ください。

(ホッケ セッション) 10:10~10:40

- ①ホッケの誕生日を調べる！—扁平石を用いた耳石輪紋の日周性の確認—
- ②光センサーでホッケの脂の乗りをみる！—ホッケ一夜干しの選別技術の開発と食味試験—

(ホタテ・シジミ セッション) 10:40~11:40

- ③コップ一杯の水が語る海のすがた—2013 年春季北海道日本海～オホーツク海沿岸における「ヌタ」原因生物（大型珪藻コスキノディスクス）の出現—
- ④黄金色に輝く乾貝柱の高品質化を目指して—乾貝柱の砕け・亀裂防止に関する研究—
- ⑤身近に潜む謎の生物ヒトデの生態を追う！—飼育実験と野外調査から地まきホタテガイ漁業海域におけるヒトデの行動生態を解明する—
- ⑥ヤマトシジミは冬に減耗する—網走湖における結氷時期の湖水調査とヤマトシジミの生存試験—

(ウニ・ナマコ・ホヤ セッション) 13:30~14:15

- ⑦道東海域および噴火湾での新たな養殖漁業創出の試み—アカボヤの垂下式養殖漁業を目指して—
- ⑧道東のナマコはいつ採卵できる？—道東海域におけるマナマコ繁殖生態調査—
- ⑨岩内海洋深層水で美味しいウニをなが〜く味わう！—給餌型ウニ低温蓄養システムの開発—

(サケ セッション) 14:15~15:00

- ⑩変化する北海道のサケ—来遊資源のモニタリングから見えてくるもの—
- ⑪食われにくいサケ稚魚を育てるために—サケ稚魚の種苗性としての遊泳力と被食回避—
- ⑫どうして外来サケ科魚類のブラウントラウトを駆除するの？—外来サケ科魚類の管理手法検討のための生態調査—

(一般発表 セッション) 15:10~15:40

- ⑬生活史を通じたシシャモの飼育に初めて成功しました—シシャモ飼育の成功と飼育実験の果たす役割—
- ⑭知っていますか？ 北海道にはニシンの「群れ」が、いくついるのか—北海道周辺に分布するニシンの遺伝情報を利用した集団構造解析技術開発—

なお、すべての口頭発表課題について発表者によるポスター展示があり、直に質問や意見交換ができる時間を用意しております。網走水試からは②④⑤の課題について発表する予定です。 (網走水試 上田)